



ちば まさふみ
千葉正文
(市民クラブ)

- 安全でおいしい給食を
- 木質バイオマスの利活用を

質問 「日本一おいしい給食」を目指した東京都足立区では、食べ残しの割合が14%から10%に減少した報告がある。奥州市での学校給食の食べ残り割合はどうか。また、どんな対策を行っているのか。

教育委員長 みそ汁、骨のある焼き魚やヒジキなどが残され、一学期には15%であるが学期が進む中で10%と減少している。対策としては、子供たちが食べやすい献立の研究・改善や食事の大切さ等の食育の指導を行っている。

質問 学校給食の地元食材割合は、全国的には20〜30%である。安全で新鮮な農産物を食べさせることや地域の農業活性化のためにも地元食材の割合を高めるべきと思う。奥州市の現状と今後の取り組みは。

教育委員長 米は100%であり、食材全体では52%となっている。野菜等については均質・大量提供の課題もあるが、農協、産直等と連携し、地元食材の供給システムを構築するようにしたい。

質問 市民クラブ会派で視察した岡山県真庭市では木質バイオ



地元食材を活用した学校給食

奥州鍋の日

- ・牛どん
- ・牛乳
- ・ゆずしょうゆ和え
- ・りんご

マス利活用システムが機能し、山林を生き返らせ、雇用も生みだし、エネルギーも地域生産され、地域の活性化が図られている。奥州市での木質バイオマス利活用の取り組みの現状と今後の進め方は。

市長 衣川黒滝温泉での木質バイオマスガス化発電等が一部行われているが、真庭市のように進んでいない。木質チップ、ペレット利用のストープ、ボイラーの普及など今後も計画的に取り組みたい。



なかにし ひでとし
中西秀俊
(創政会)

- 江刺区内診療所の存続と充実を
- 地区要望が多い、生活道路の舗装に予算の増額を

質問 江刺区内の診療所は、医師が遠隔地に出向くことで、利用者は生活上で安心感と、負担の軽減が図られる。この事業を考えてくれる医師はいると思うが、個別アンケートを取ってみてはいかがか。国からの補助金等を有効に活用して存続と充実を図るべきではないか。

市長 当面は継続していく。医療の資源の集中は大切だ。今後のあり方は、バス助成や患者輸送バス等の交通手段確保と併せ検討する。

質問 江刺消防署東分遣所の整備は該当地域の共通理解が必要であると考えるが。

市長 平成25年2月頃に施設の建設地や規模を示す。基本方針を受けて、消防本部と連携して地元説明会を開催しながら、施設用地の選定を行い、平成27年度に施設整備を進める。

質問 地区要望が多い生活道路の舗装に予算の増額はできないのか。

市長 各地域計画に基づき、優先順位の高い路線から進めている。

質問 路線バスは効率が良く利



市所有の梁川診療所

便性の良い輸送改良が必要では。
市長 平成25年4月から見直した計画で運行する。(日・祝日の全休。乗車率の低い便の運休等)今後も状況を見守り意向を聞き改善を図る。
質問 平成28年から地方交付税の縮減や合併特例債がなくなることから、市の財政規模の縮小や借金を減らす取り組みのスピードが必要ではないか。
市長 岩手競馬・水沢病院・土地開発公社3課題に一応の目処が立った。「入るを量りて、出づるを制す」当面は厳しい財政運営を強いられる。安定的な財政基盤を築くため、変革期であり、苦しい時期であるが、これに乗れ越え、飛躍できる未来、幸せを実感できる未来につなげる。